

第1回教育プログラム検討部会（地域人材養成推進会議） 概要

- 1 日 時 令和5年6月9日（金）15時30分～17時
- 2 場 所 山梨県立大学飯田キャンパス A館2階 大会議室
- 3 出席者 八代副学長、杉山地域人材養成センター長、山梨大学 奥田副学長、山梨英和大学 難波副学長、山梨学院大学 成田学習・教育開発センター長、県商工会議所連合会 花田事務局長、山梨中央銀行 岡本山梨未来創生室長、やまなし産業支援機構 野本事務局次長、山梨県庁 武井私学・科学振興課長、川崎労政人材育成課総括課長補佐

4 次 第

- (1) 「第1回地域人材養成推進会議（全体会議）」概要説明
- (2) 山梨大学、山梨県立大学が考える教育プログラムについて
- (3) 経営者意識調査について

5 主な意見

【大学での教育などについて】

- 近い将来リニアが開通すると、山梨県も大きく変化するため、このタイミングで新しいプログラムを開始することは、新たな時代を担う人材を養成するうえで、非常に重要である。
- PBL科目を多く配置するカリキュラム構成は地域のことを深く理解するうえで非常に有益ではないか。
- 地域社会で活躍する人材を育成するのであれば、まずは地域社会や地域の企業のことについて知る機会をプログラムでは用意する必要があるのではないか。
- 地域産業や地域が持つ豊かさや価値などに気が付くことが重要となるが、そのためにはまずは、現場に赴き、生の声を聞くことが必要にある。そして、地域のことを本質的に理解するためにも、外からの視点も必要になるのではないか。
- プログラムの構成を検討する際には、全体構成をしっかりと組み立て、デザイン思考を養うことも重要になるのではないか。

【地域社会において必要となる人材や能力について】

- 協調性があるなど、いわゆる平均的な人材よりも、今後は新たな価値を生

み出すなど、山梨や現場を変えるキープレイヤー的人材が求められるのではないか。

○人工知能の普及など、社会が大きく変化しても人間力やコミュニケーション能力などは、今以上に重要になってくる。

○今後、人間が行う業務も変わってくると思われる。そうなると、課題発見能力や、課題解決に向けて取り組むことができる人材が必要になってくる。

○企業等で求められる人材は、地域ごとに異なる部分が当然ある。都市部を中心とした大企業だけでなく、地域産業等を支えている企業の意見等を聞き、地域のニーズを的確に把握することも必要になるのではないか。

(参考)

●教育プログラム検討部会

地域人材養成推進会議設置要綱6条1項の規定に基づき設置

(1) 目的 事業運営及び全体会議での円滑な協議を図る。

(2) 部会長 八代副学長

(3) 所掌事項

- ・ SPARC で構築する教育プログラムについての具体的な検討
- ・ 大学間連携のあり方についての検討

(4) 令和5年度のスケジュール

- ・ 第1回部会 令和5年6月9日(金)
- ・ 第2回部会 令和5年8月～9月

●経営者意識調査

県内の企業経営者の視点から魅力的な人材像や、地域を牽引する人材として必要な資質・能力をどう捉えているのか、について調査する。

- ・ 調査数は、30社程度
- ・ ヒアリングシートにより、経営者から直接ヒアリング(委託予定)
- ・ 調査結果は、KJ法に基づき構造化し、報告書を作成(委託予定)
- ・ スケジュールは、次のとおり。

① 8月 ヒアリング調査の完了

② 12月 調査報告書の完成